

児童朝会 校長の話 6月7日

先週の朝会で、エリック・カールの「はらぺこあおむし」の絵本を紹介しましたね。あおむしが素敵なチョウになりました。

実は浅草小学校でも、たくさんのチョウが誕生しています。3年生が理科の勉強でチョウを育てているのです。



これは何の卵でしょう。

アゲハチョウとモンシロチョウです。3年生の先生がアゲハチョウの幼虫を40匹、モンシロチョウ

の卵を30個見付けてきてくださいました。そして、3年生が大切に育てて観察を続けました。そして幼虫になった姿です。



さらに、さな

ぎになりました。そしていよいよチョウになりました。3年生

の観察カードを借りてきましたので見て

ください。丁寧に気付いたことが記され

ています。チョウになったところには「羽

をバサナサさせてかわいかったです。別

れてしまうのは寂しいけれど、たくさん

観察ができてよかったです。今までありがとう。」と書かれています。

大切に育てて観察してきたことが分かりますね。





さて、この写真を見てください。4年前に新種として発見された「ヒメタツ」です。タツノオトシゴの仲間です。右側のお腹の大きいのがメスのように見えますが、実はオスで、左側がメスです。メスが卵をオス

に受け渡して、オスが1～2ヶ月お腹で育てて、オスが子供を産みます。オスが子供を産む唯一の生き物だそうです。かわいい赤ちゃんがお腹から出てきてきますね。赤ちゃんは1cm位の大きさです。

今、いろいろな生き物が繁殖の時期を迎え、卵から赤ちゃんが産まれています。休み時間に校庭でダンゴムシの赤ちゃんを見付けている人がいますね。いろんな生き物を見付けてみてください。そして、生き物を大切にしていきましょう。

